

タミフル：流通分と備蓄用は包装が異なる

通常シーズン用

備蓄用

仕切り書記載の品名

タミフルカプセル75MG PTP 100P

タミフルカプセル75MG PTP 100P ビチクヨウ

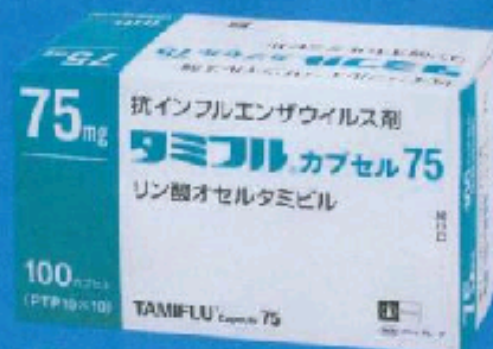
JANコード

49 87136 10025 4

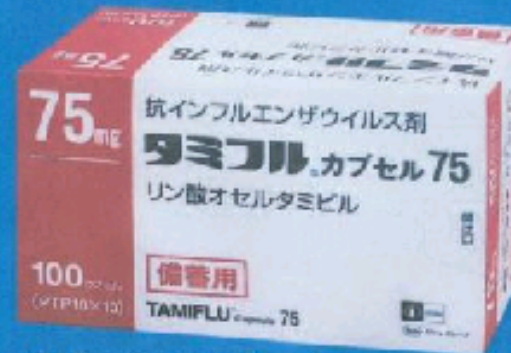
49 87136 11811 2

製品の外観

サイズ



サイズ：105×62×55(mm)



サイズ：105×62×55(mm)

PTPシート



抗インフルエンザ薬の比較 (タミフル、リレンザ、シンメトレル)

			
	塩酸アマンタジン 商品名 シンメトレル	ザナミビル 商品名 リレンザ	リン酸オセルタミビル 商品名 タミフルカプセル タミフルドライシロップ
適応	A型インフルエンザ	A・B型インフルエンザ	A・B型インフルエンザ
対象	成人	成人 (米国では7歳以上※)	成人(米国ではカプセル 13歳以上、1～12歳は ドライシロップ※)
剤型	錠剤(50mg、100mg) ・粉末	吸入	カプセル(75mg) ドライシロップ(3%)
投与経路	経口	吸入	経口
投与量	1日100mg (1日2回朝、昼)	1回2吸入(10mg) 1日2回 (計20mg)	1回1カプセル、 1日2回 (計150mg)
投与開始時期	発症後48時間以内	発症後48時間以内	発症後48時間以内
投与期間	最長7日、症状改善後 速やかに中止	5日間	5日間
	抗インフルエンザ薬 以外の適応で、比較的 広く使われている。	直接患部(上気道)に 作用するため、消化器 症状などの副作用が	カプセルで内服しやすい。 また1カプセル単位で処

特徴	薬価は安価である。 米国では1日の 推奨投与量は 200mgである。	生じにくい。 薬価は比較的高価 である。 (1日薬価773.6円)	方できるため調整が容易。 薬価は比較的高い。 (1日薬価792.6円)
使用上の注意	腎機能低下患者では減量投与。 高齢者および腎機能障害患者において副作用の出現に注意。	吸入剤のため慢性閉塞性肺疾患や喘息患者に使用する場合に気道を刺激する可能性がある。 吸入のため特殊な吸入器が必要。 薬剤の吸湿性が高くブリスターに穴があくと吸入できなくなる。	副作用として消化器症状の出現頻度が高い。 慢性呼吸器疾患患者に関する使用も問題ない。 糖尿病などの糖代謝障害者で高血糖を来した報告がある。
薬物動態	腎排泄	吸入後血液中に入った薬剤は腎より排泄、残りの消化管に入った薬剤は吸収されず糞便中へ排泄される。 肝臓での代謝はない。	肝臓で代謝され腎より排泄される。
半減期	約10～12時間	約2.8時間	約7時間
耐性ウイルス	耐性ウイルスの出現頻度は高い。	耐性ウイルス出現頻度少ない。	耐性ウイルス出現頻度少ない。 (成人1.2%、小児8.6%)



タミフルの服用の際に、気をつけていただくこと

タミフルは、一般的には安全な医薬品ですが、頻度は低いものの様々な副作用を生じることがあります。以下に副作用を疑う際の留意点をまとめましたので、服用開始後になんらかの異常を感じた際の参考にされますようお願い申し上げます。

・次のような症状に気づいたら、使用をやめて、すぐに医師に相談してください

動悸・血圧低下、蕁麻疹・息苦しい

白目が黄色くなる

全身の皮膚の発赤・ただれ・水ぶくれ・口内炎・結膜炎

尿量の減少・むくみ

出血しやすい

血便

意識がぼんやりする、意識がなくなる、うわごとを言ったり興奮したりする、普段と違うとっぴな行動をとる、幻覚が見える

・次のような症状に気づいたら、早めに医師に相談してください。

腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、血を吐く、おなかがはる、口内炎、口の中の不快感、くちびるがはれたり赤くなる、食欲不振、胸やけ、体温が平熱よりも下がる、頭痛、眠気または眠れない、強い刺激を与えないと目覚めない、めまい、視野が狭くなる、視野の中に見えない部分がある、ものが二重に見える、ふるえ、しびれ、じんましん、かゆみ、あざができやすくなる、尿に血が混じる、息苦しい、脈が速くなる、脈が乱れる、胸がドキドキする、胸が痛い、背中が痛い、疲労、耳の痛み

・他にも何か変だなと感じたら、医師または薬剤師に相談してください**参考**

1) タミフル添付文書 <http://www.tamiflu-j.com/tamiflu-j/02/0201.html>

2) 阪南病院中央病院Hp薬剤科提供資料 <http://www.hannan-chuo-hsp.or.jp/pdf/tamiflu1.pdf>

リレンザ(吸入)を使用する際、気をつけていただくこと

リレンザは、一般的には安全な医薬品ですが、頻度は低いものの様々な副作用を生じることがあります。吸入薬のため、気管支喘息など、呼吸器に病気のある人は注意が必要です。喘息用吸入薬を併用する場合、喘息用の吸入薬を先に使用する様にして下さい。その他、以下に副作用を疑う際の留意点をまとめましたので、使用開始後になんらかの異常を感じた際の参考にされますようお願い申し上げます。

・次のような症状に気づいたら、使用をやめて、すぐに医師に相談してください

顔や上半身の紅潮・熱感
皮膚のカユミ、蕁麻疹、口唇や舌・手足の痺れ感
むくみ、吐き気
顔面蒼白、手足が冷たくなる、冷や汗
息苦しさ・胸苦しさ

・次のような症状に気づいたら、早めに医師に相談してください。

頭痛、手指のしびれ感、不眠症
下痢、悪心、嘔吐、食欲不振
咽喉乾燥、口乾、口内炎
舌あれ、味がおかしい
胸がドキドキする
発熱、発汗、首が痛い、背中が痛い

・他にも何か変だなと感じたら、医師または薬剤師に相談してください

参考

1)リレンザ添付文書

<http://glaxosmithkline.co.jp/medical/medicine/item/relenza/relenza.pdf>